

知的生産の技術 アンケート(20051024)

出生 幼少の出来事について、幼少の出来事について話すのは面白かったです。今回の授業は出生 幼少の出来事を振り返るよい機会だったと思います。思い出した内容だけを書き、忘れた内容は書いていないので、今回書いた内容は完璧ではないと思います。

タイプ1

自分の幼少時代のものはモノがあることを前提にした思い出であったが、戦前の生まれの方のモノ不足を前提として幼少時代があることに差があって興味深かった。モノあまり、モノ不足の両方が与える後の人格の差異はあるのだろうか。この講義が終了するまでに考えさせられる事柄である。

出生や幼少の記憶があいまいなせいか、悪い思い出も笑い話になっているように思います。意外に出生～幼少の期間って長いので、思い出すとキリがなかったです。そして、デフォルメされている部分もあるのかなとも思いました。出生 幼少は最も可愛かった時期だと思うので、親にインタビューしたら、いろいろ話してくれそうです。

出生 幼少の頃を思い出す作業をして、すらすらと書くことができたので、家族からエピソードやその頃のことをよく聞かされていたのだと改めて感じた。思い出すと、幼い頃から変わっておらず、この時が始まりだったのかと思うことや、逆に今は全然違うなと思うところもあった。不足している情報を家族に聞いて、自分への理解をもっと深めたい。

タイプ2

アンケートのオープンはいいいですね～。誰がどのように感じているか一つのテーマに対しいろいろな視点からそれぞれが文章にまとめること、参考になります。それから、出生 幼少期の記憶が少なく、身体的な事柄は病弱だったためあまり残っていません。それから先人達の人物史ほんとに助かります。それから「名言・名句」これからもヨロシクお願い致します。学生さん達が育った時代と戦後の何もない時代に生きた衣食住も含め今一度たどってみたいと思います。ありがとうございました。

今回は出生 幼少の頃の自分を振り返ってみたが、その頃の記憶がすごくあやふやであまり思い出すことができなかった。でも他の人と話をしてみたら、そんなこともあったなあと思いつけたものもあった。一緒に話し合った人の中には、幼少の頃から今の性格タイプがあてはまると言っている人がいたが、私は幼少の頃は今の性格タイプがあてはまらないと思うので、変わったのかなあと思った。

はっきりいってほとんど覚えていなかった(というより知らない?)。記憶というものは忘れてしまっても意識下にあるもので、何らかのきっかけで思い出すものなののでしょうか。今の時点ではさっぱり思い出せません。とりあえず自分が知りえない情報を両親や姉妹から教えてもらって頑張ってみようと思います。今日はタイプ別で話し合いましたが、やっぱりこの前と違うものですね。その中でも積極的に話そうとする人とあくまでもわが道をゆく人と様々で面白かったです。「タイプ」に思わず納得してしまいました。

タイプ5

自分の赤ちゃんのときの記憶はほとんどないので、親にどんな赤ちゃんだったか聞いてみたくなりました。

幼少時は当たり前かもしれないが現在と正反対の性格であった。後先を考えずに目先の興味だけに生きていたと思う。私にとっての幼少時代は病気と病院であった。一番記憶があやふやな時期だけど、それが幼少時のキーワードであると思う。

タイプ6

自分の過去を振り返ると、今の自分とは性格がかなり違うことに改めて気づいた。幼い頃は活発で人見知りなどほとんどしなかったのに、今は他人を観察してそれからどう接していいのかなどと、あれこれ考えなければ人付き合いができない。おそらく今までの経験から慎重にことを運んだほうが失敗が少ない、というのが身につけてしまい、それが性格や行動に反映された結果、今の自分になってしまったのであろう。

自分の小さい頃を思い出すと、いかに幸せに暮らしていたのかということを考える。多分きれいごとばかりではなかったが、楽しい思い出ばかりがわき上がってくる。親は自分の2・3年後に自分を産んでこんなに幸せに育ててくれたのかと思うと尊敬する。今の自分がいろいろなことに興味を持てるのは、この時期にいろんな人やモノに触れているからなのではと思う。逆に悪い意味での自分の性質もここに要因があると思った。

タイプ7

性格タイプでは、9個に分類されるが、出生 幼少タイプから見ると、更に細分化されており、その9つのタイプに全てあてはまらないと話を聞いて感じた。また、現在の性格タイプと昔の性格タイプでは異なっている人もいたので、生きていく上で、その人の性格が作り上げられていくのだと思った。新たな自分を知る上でも、幼少時代から振り返って考えるのは良いことだと思う。来週も新たな自分に出会いたい。

男の人は同じように小さい頃閉じ込められたりしていたということがわかって、おもしろかった。遊びも性別によって似ていたのも興味深かった。最初はボンヤリとしか思い出せなかったけれど、人の話を聞いていくと、自分も似たようなことがあったなあと思いつく材料になった。

今日、自分の小さい頃を思い出してみたら、今まで忘れていたような事をたくさん思い出せた。数十年経っても昔と変わらないところがあって、少しびっくりした。グループで話し合ってみて、時代背景が違うと小さい頃の暮らしぶりなども違っていているいろんな時代の人と話すのは勉強になると思った。

タイプ?

自分の出生 幼少の頃を思い出すと、波乱万丈な人生を歩んできたような気がするから不思議だ。他の人たちの話を聞いてもそれぞれにエピソードなどがあって興味深かった。他のひとたちは生まれたときの体重も知っているようで、自分は生まれたときの体重などは気にしていなかったの、知らない。知っておくべきかと感じた。(汗)

タイプ6・9

こまかく自分の過去を振り返ると、あれこれ思いだしてきて、こういうことが今の自分を築いているんだと感じた。特に、私にとっての幼少期は、自分の基盤となっていることに驚いた。こうして振り返ったり、人の話を聞くことは、客的に自分を見つめ直すいい機会なので、今後もしっかり取り組んでいきたいと思う。そして、自分の新たな側面が発見できたら、スゴイとも思う。

今日から授業に参加させていただきましたが、すごく面白かったです。話し合う中でも、話し方や他の人への気配り方にも性格タイプってすごくでるんだなあと感じました。それぞれの性格をよく知り、個性として互いに尊重し合えれば、人間関係やコミュニケーションは上手くいくと思います。幼い頃の記憶を思い出す機会などはなかなかないので、今回の瞑想の中で今まで忘れていたたくさんの記憶を思いだしてみても、すごく面白かったし、今の性格や考え方、生き方のルーツを発見できたような気がしました。次回は楽しみです。それまでにきちんと自分の性格タイプを出しておきます。